

台徳院殿小辨禱の時に六歳あり

六の辨禱の事寛永譜小不見なり廣重此と云  
思ふあり疑ふも家譜のまにあり 父死

て後江戸にすり遺跡とたまわり武藏

国榛澤郡内とすり米地千石と知

り寛永二年十二月米地の清米印と

賜ひ同九年清小性組れ番士不列一十

年二月下野国都賀郡のうら小とす

二百石と加増する廣安二年二月廿日

と一二十七小して死ひ法名と体意

とす其子次郎玄清廣次ひらたけの廣安元年

七月とすめ

大猷院殿小辨禱の時に十六歳あり同

三年遺跡とす家譜○今の法書院番石野  
新五郎の廣温の祖なり

彌五右衛門良継よしかつの新藏廣光ひろみつの二男あり

武藏に生る寛永とすめ新五郎とす

家譜

